

# CAEを安心してご使用いただくために



## ⚠ 注意事項

適切な自動車分野の経験と適切な工具がある場合にのみ、取り付けを行ってください。シフターの取り付けが不適切な場合、トランスミッションに深刻な損傷を与えたり、車両の運転や変速ができなくなったり、重大な事故につながる可能性があります！

電気系統の作業が必要な場合は、メーカーの仕様に従ってください。

フックを外す際は、必ずイグニッションをオフにしてください。車内に車のキーを置いたままにしないでください。

すべての作業は注意深く、清潔に行ってください。シフターの専門的な組み立てには力は必要ありません。すべての部品はあなたの車両に合うように設計されています。

不安な場合は、信頼できる工場に取り付けについて相談してください！

## 安全のためにお読みください。 基本事項

すべてのアルミニウム部品の清掃にはエチルアルコール/ブレーキクリーナーを使用してください。

動く部品には時々、浸透性の良いスプレーグリスを塗布してください。

**推奨品: Würth HHS 2000 (WD-40や類似品は薄すぎるため不適切です)**

自己ロック式でないまたは歯付きロックワッシャーが付いていないすべてのネジとナットは、組み立て時にゆるみ止剤などを使用してください。表面とその手入れ未処理のアルミニウム表面 (ALU) は、手の汗などの刺激的な液体に敏感であることに注意してください。特に、我々が使用する高強度7075アルミニウムは、高い銅含有量のため黒い腐食斑を形成する傾向があります。特殊な状況下では、海や海岸付近の非常に塩分の多い空気が腐食を引き起こす可能性があります。したがって、これを防ぐために表面は定期的に清掃し、注意深く扱う必要があります。この目的のために、例えばエチルアルコールやブレーキクリーナーを使用します。これらを布にスプレーしてシフターを拭くだけで、決してシフターに直接スプレーしないでください。

すでにシミができている場合は、市販のアルミニウムポリッシュで除去できますが、これもシフターの可動部分に入らないようにしてください。アルマイト加工されたバージョンのシフター (BLACKボディ、グレーボディ) は腐食に対してより耐性があります。スチール部品もすべてのバリエーションで手入れが必要です。力は速さを生まない - トランスミッションを傷つけるだけです。

よく聞かれる質問:「CAEシフターは標準のギアレバーよりもギアボックスに負担をかけますか?」

答えは明確です:「いいえ!」トランスミッションのシンクロナイザーリングに最も負担をかけるのは、過度のシフト力や誤ったギアへのシフトです。基本的に、CAEシフターのシフトストロークは標準レバーよりも大幅に短くなっています。車両とトランスミッションのタイプによって、30~55%の削減を実現しています。

これはシフトレバーに適切なギア比を使用することでのみ達成できます。CAEシフターでギアを入れる精度は、快適性を重視して設計された標準のギアレバーよりもはるかに優れていることを感じることができます。

そのための力は同じ割合で減少します - シンクロナイザーリングにかかる負荷が大幅に少なくなります。さらに、正しく調整されたCAEシフターでは、ギアの入れ方が非常に正確で、誤ったギアに入れることは極めて稀です。モータースポーツでも、速く正確でありながら繊細なシフトが目標につながります!

それ以外は純粋な引っ張りや引き裂き (様々なYTチャンネルでよく見られます) で、「重要」に見えますが、決して速くはならず -むしろトランスミッションに不釣り合いに高い負担をかけ、最悪の場合、致命的な誤ったギアシフトを引き起こします!

## BASICALLY

Use ethyl alcohol/brake cleaner to clean all aluminum parts.

Occasionally lubricate all moving parts with spray grease, which has good creeping properties.

Our recommendation: Würth HHS 2000 (WD-40 or similar is unsuitable because it is too thin)

All screws and nuts that are not self-locking or are fitted with toothable lock washers

glue in during assembly!



推奨品: Würth HHS 2000